

Bulletin 187

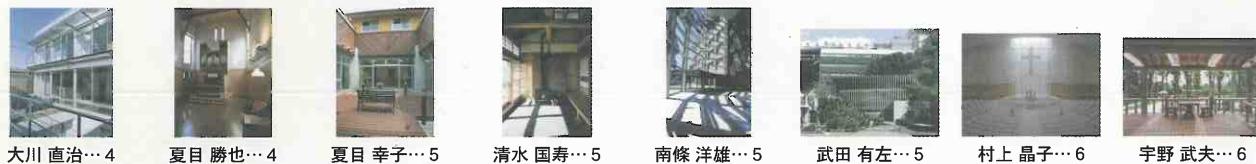
2005年3月特集号

平成3年4月16日第三種郵便物許可 平成17年3月15日発行(隔月15日発行) 第18巻第8号 通巻187号

建築家の活動

顔が見える情報交換…2

都県別建築家索引…2



新潟県中越地震

地震発生から1ヶ月の記録=植田清史…16

災害のとき、JIAに何ができるか?=近藤勇二…20

被災者復興へのボランティア活動に参加して=杉山貞利…29

被災住宅相談キャラバン隊アンケート回答=林正人…31

被災住宅相談キャラバン隊体験報告=菊地進…31

新潟県中越地震における被害認定調査(第3次判定)に従事して=吉原裕之…33

JIA新潟地域会行動記録…34

キャラバン隊・第三次判定の参加者名簿…36

社団法人 日本建築家協会
The Japan Institute of Architects

関東・甲信越支部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館
Tel: 03-3408-8291 Fax: 03-3408-8294

J I A

広報より…37

編集後記…37

職業講話

活動の所在地：東京都杉並区高井戸東



中村 雅子

2004年11月、杉並区立高井戸中学校（浜田山駅近接・全14学級・526名）の中学生にキャリアガイダンスを開催。あらかじめ生徒からリクエストの多かった職業をセレクト。およそ10の職業人（医者・報道カメラマン・コピーライター・保育士・通訳・自動車整備士など）が集う。私は「建築家の仕事」をスライドを使い、小さい頃から今までの活動を紹介しました。1コマ15名程度のグループに分かれ2コマ。自由な質問や発言も交わされて、身近な職業を感じてもらえたようでした。中学1年生で「建築家」というコトバが出てくるとはオドロキ。夢をもってはばたいてもらえたたら、と願いました。

〈一級建築士事務所中村雅子
デザイン事務所／
東京都杉並区〉

**表題**

所在地：東京都練馬区

用途：事務所

構造：鉄筋コンクリート造

総床面積：75.7m²

加藤 将己



10坪弱の限られた敷地ながら、区画整理を機に角地を生かして小さいながら全面曲面のガラスブロックの光の壁で包む、町のアイサイト／ぽんぱりとしての存在感を示す事務所建築です。

〈(株)将建築設計
事務所／東京都新宿区〉

地域を観察——「車いす」のまちあるき

寺本 晴子

社会人勤労学生と車いすを使った「まちあるき」体験学習をしている。新宿駅周辺の2年目になる今年は、南新宿のまちと、併せてここ数年に創出された公開空地（総合設計制度を利用した建物の周辺）を、車いす利用者の視点で移動してみる。景観からユニバーサルデザインまで、敷地から地域への配慮など一市民としても考えることが多い。「車いす」だからこそ遠回りになるアクセス



〈(株)マ architecture／東京都中野区〉

を許容する社会の考え方などに率直に疑問を持つ建築科2部学生たちに刺激されている。

景観法先進県 鳥取

活動の所在地：鳥取県西伯郡



吉田 晃

鳥取県とNPO市民文化財ネットワーク鳥取では昨年10月から12月にかけて景観づくりセミナーを行いました。歴史や文化など地域の固有の資源を活用しながら、魅力ある景観やまちなみづくりをリードすることができるような人材を育成するためです。

第1回は鳥取市内山手地区の武家屋敷群の区画、2回目は県西、大山（ダイセン）の麓の赤崎町光（ミツ）の集落、第三回目は県東、若桜宿の街並を巡りながらシンポジウムを行ないました。行政、市民活動家、郷土史家など延300人が参加。片山鳥取県知事も参加し、景観法施行を機に、より良い景観づくりに向けた活発な議論が展開されました。

私は、首都圏で行われている民家修復の事例を紹介し議論に加わりました。

〈吉田晃建築研究所／東京都新宿区〉